



レイカディア大学 サポートの会広報誌

シニアの学び舎

レイカディア大学だより 草津キャンパス

No.61

2026.5.27

シニアが新しい教養と技術を身につけ、地域の担い手として登場できるよう支援しています

レイカディアの日 2026



ドローンでの空撮映像も、右の
二次元コードからご覧ください。

森づくりボランティア活動

4月16日、県営都市公園「びわこ地球市民の森」(守山市)において、サポートの会(地域活動部会)主催による「レイカディアの日」が行われました。今年は在学生在が大幅に増えたほか、彦根キャンパスからも10名が加わり、過去最高となる210名が参加しました。



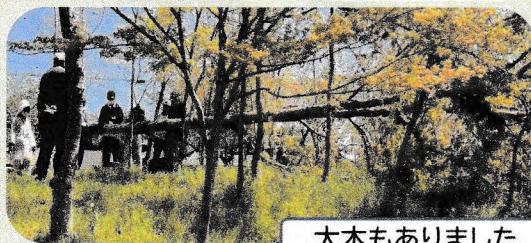
竹の切出し・間引き

朝10時、地域活動部会・瀬戸部会長の開会宣言、サポートの会・内藤代表の挨拶で始まり、「びわこ地球市民の森」森づくりセンター平塚所長による作業説明の後、7班で分担して雑木林の間伐作業と竹林整備に取り掛かりました。間伐では樹高10メートルを超える大木もあり、交代で作業するものの、「腕がパンパン」と言いながらの作業でした。竹林では、枯れた竹の切り出しと間引きを行いました。昼前に作業を終え、三々五々集まっての昼食。午後は「モリック」(「モルック」の地球市民の森版)で楽しみました。14チームに分かれて、和気あいあいとプレーし、大盛況でした。

本活動を通して森の風通しが良くなるとともに、卒業生、在学生在、学科とキャンパスの垣根を超えた交流が図られました。平塚所長からも、「センターの森づくりは皆さんにかかっている、来年もよろしく」と期待の言葉がありました。

快晴の下、日焼けで真っ赤になりましたが、全員が無く活動を終わりました。良い汗をかき、楽しいひと時となりました。

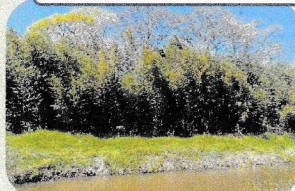
取材：須田、竹脇、八田、米川



大木もありました



モリック



昼食



樹木の伐採



2026 大学祭

(告知)

2026/7/23~7/25 於：草津キャンパス

「楽しもう！笑顔つながる 大学祭」



三日月知事、合同講座に立つ

取材

2月12日、栗東芸術文化会館さきらにおいて、レイカディア大学草津・彦根両キャンパス合同講座として、知事を招いての講義及び卒業生とのパネルトークが行われました。

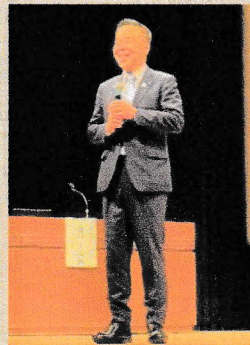
第一部では、知事から「誰もが自分らしく幸せを感じられる社会の実現」というテーマで、滋賀県が目指す将来像や人生100年時代に向けての県政などについて講義がありました。

第二部では、「私らしい最高の人生の作り方」というテーマで、知事と卒業生代表の6名がパネルトークを行いました。「初めは小学校の式典に花を贈る活動を一人で始めたのが、今では仲間が増え、対象の学校の数も範囲も広がった」、「私に何ができるかと考えてバルーンアートを学び、今も子供や高齢者に喜んでもらうのを楽しみに活動している」などと各人が生き生きと語られました。また、「彦根キャンパスでは全員が集うスペースがなく基礎講座や大学祭も半数ずつでしか開催できない」、「シニアにも必需品となったIT関係の授業がなく、Wi-Fi環境も不十分である」などの問題提起もありました。

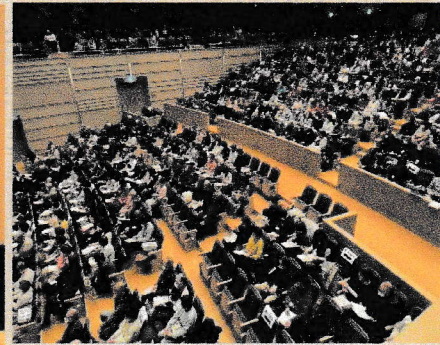
これに対し、知事から、「私がこの場に呼ばれた理由が分かりました。レイ大生が卒業後もつながりを持ち、子供たちや地域のために真摯に活動していることを知りました。レイ大設置者(知事)として、環境整備に努め、今後も継続的に意見交換していきたい。」などと、心強いお話がありました。

最後に、存続危機を経て在学生と卒業生が運営に協力し、みんなで紡いできたことが今のレイ大の良さにつながっているのではないかと谷口副学長がまとめて合同講座を締め括られました。取材を終え、私たちもレイ大卒業生としてどこか誇らしい気持ちになりました。

取材:岡島、竹脇、中村、米川



知事講義



ほぼ満席の会場



パネルトーク



合同講座を終えて

クラブ紹介

卓球クラブ

寄稿

「卓球は生涯スポーツ。仲良く楽しく続けます。」

今年度は過去最高の34名もの入部があり、活気あふれる体育室からは「ピン・ポン」という音が廊下まで響いています。普段は卓球台3台を使い、1度に12人が交代制で打ち合い練習をしています。待ち時間はおしゃべりタイム！学科や学年を越えて話がはずみます。審判資格を持つ卓球部の先輩が指導に来てくださることも多く、初心者にも丁寧な指導コーナーにはいつも列ができるほどです。皆で和気あいあいと楽しくにぎやかに金曜日の夕方を過ごしています。

また、年に2回ほど近くの滋賀ダイハツアリーナで、たくさんの卓球台を借りて広々伸び伸びと練習や試合を楽しんでいます。



基礎講座後の練習風景



ダイハツアリーナでの試合

卓球は、動く範囲が少ないと思われがちですが、実はステップやラケットを使い、穏やかにも活発にも全身運動ができる高齢者に適した生涯スポーツです。経験の有無にかかわらず、運動不足解消や仲間づくりにもなる卓球を、健康な身体を維持するためにも、これからも仲良く楽しく続けていきたいです。

卓球クラブ部長 高橋 民雄(46期びわこ環境学科)



ダイハツアリーナでの試合を終えて

学科紹介

47期 びわこ環境学科

寄稿

常に前向きで新しい事に挑戦するシニアたち

滋賀・琵琶湖への探究心を胸に集まったクラス全員、驚くほどアクティブです。「新しい発想」と全員でチャレンジする「行動力」が自慢のクラスです。選択講座の授業では、講義後の質疑応答が止まらず毎回時間オーバーになるほど熱心。常に高いモチベーションで仲間との絆を深め、何事も楽しみながら取り組んでいます。

マスの採卵・受精→

栗東自然観察の森↓



オリジナルTシャツ→



醒井養鱒場にて記念撮影

3月末に、クラスの一体感を高めるオリジナルTシャツが完成。先輩方からのデザインの伝承と自分たちの独自発想をミックスした自信作です。また、大学祭に向けては30件以上もの斬新なアイデアが飛び出し活発

なプレゼンと議論を経て運営可能数に絞り込み、現在、全員一丸となって準備を進めています。校外学習では「醒井養鱒場・地蔵川」や「針江生水の郷」を訪れ、滋賀の宝である水環境の重要性を学び、また「草津市クリーンセンター」でのゴミ処理の流れや処理方法を学び、琵琶湖を守る意識も益々強いものになってきました。学びを楽しみ、地域を愛する、笑顔の絶えないクラスです。

47期 びわこ環境学科 学科長 辻本 和史



草津クリーンセンター

学科紹介

47期 地域文化学科

寄稿

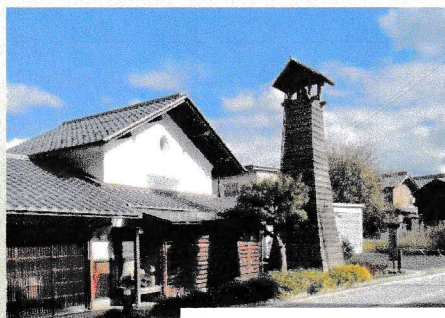
歩いて、学んで、深まる絆

47期地域文化学科は 応募者全員が入学でき、男性23名、女性5名。しかし、入学後2名の方が退学されました。各種授業や親睦会等を通して、しだいに交流が深まり笑顔あふれるクラスです。全員が日々「セカンドキャンパスライフ」を楽しんでおります。

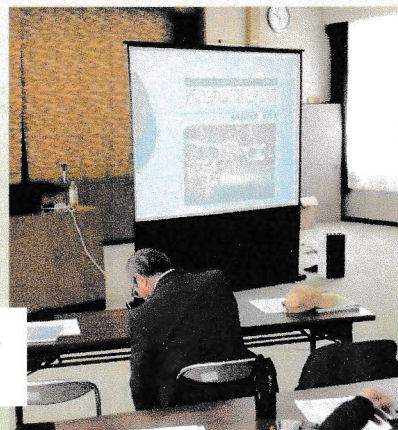
楽しみのイベント「大学祭」、「ニュースポーツ大会」行事や授業に向けて一丸となり、クラスメートとの絆を深め楽しんでいきたいと思っています。私達がスキルアップした知識と諸先輩方のアドバイスを加味して、自分たちにとって最高の思い出を積み上げていきたいと思っています。

「地域学」、「民俗学」、「文学」の切口角度を変えて深掘りして、地域の歴史と文化を学んでいます。みんなが「好きなもの」はより深く、「普通なもの」は今以上に、「苦手なもの」はそれなりに、より好きになれるように取り組んでいます。

47期 地域文化学科 学科長 澤井 功樹

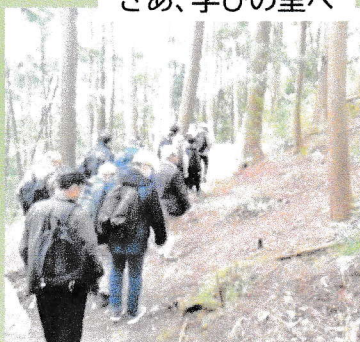


柏原宿の鼓動に触れ 教室で歴史を紐解く



『校外学習』

さあ、学びの里へ



荒神山古墳 散策 日頃では味わえない感動

レイカディア振興課人事異動

4月1日付でレイカディア振興課(大学事務局)に異動がありました。メッセージを頂きましたので、感謝の意を込めて紹介します。



この度レイカディア振興課を離れ、総務課へ異動することになりました。まだまだやりたいことが数多くありましたのに、とても残念です。

私がシニア世代の可能性に惹かれたきっかけは、83歳の父が今でも現役で働く姿を見て、自分も生涯、誰かに必要とされ、活躍できる存在でありたいと感じたことです。その思いの答えが、まさにレイカディア大学にありました。

ここでは肩書を越えて人がつながり、卒業後も地域で活躍しています。この素晴らしい流れを築いてきたのは、レイ大生の皆さん

まにほかなりません。だからこそ、レイ大は日本一のシニア大学です。私は自信を持って言えます。

「仕事が落ち着いたらシニア大学に行こう」、そんな道筋がごく当たり前になる社会になれば素敵だな、と思います。レイ大の役割はますます大きくなっていくでしょう。これまで本当にありがとうございました。なお、50周年に向けては引き続き関わってまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

川嶋 二郎



私自身、レイ大を通じて多くの出会いに恵まれ、この大学や人とのつながりの魅力を実感しました。レイ大が今後益々発展しますように。部署は変わりますが、レイ大への思いは変わらず、私も微力ながら貢献できたらと思います。4月からは同じ建物内の「研修センター」という部署で頑張ります。

岡本 侑実

37~40期の皆様が学生の頃に事務局を担当させていただいており、再びレイカディア振興課長として着任いたしましたこと、嬉しく思っております。皆さまと連携しながら円滑な業務運営に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

課長 山田 沙世



今年度からレイカディア大学の事務局担当となりました。これまで総務課に所属しており、慣れないことばかり

でご迷惑をおかけすると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

係長 辻 知弘



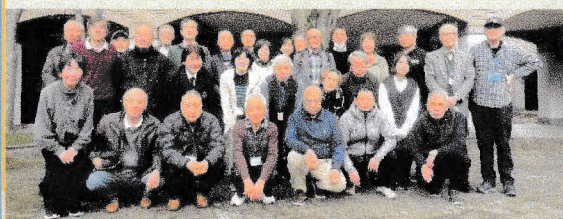
広報情報部会の「ホームページ作成講座」

学生生活を紹介するホームページの作成手順を習得することを目的として、47期生の広報部会員の皆さんを対象に「ホームページ作成講座」を1月から計3回開催しました。

今年度は、従来の内容に加え、「スマホでも見やすいレイアウト」という新たなコンセプトを取り込んで講習を進めました。ほぼ全ての方がホームページ作成は初めてで、戸惑いながらの受講開始となっていました。しかし、1回目の講習ではトップページの作成、2回目ではリンク先の作成などを学習し、最後の3回目では大学のホームページに各学科の記事をアップできました。

受講生の皆さん、充実した学生生活をホームページで紹介してください。これからも楽しい記事の更新をよろしくお願いいたします。

広報情報部会 部会長 北川 博志
情報部長 宇野 恭二



自主講座部会の「パソコン教室」

寄稿

初心者からスキルアップを目指す46・47期を対象として、「パソコン教室」(入門/Word/Excel/PowerPointの4講座)を開講しました。

講座では、マウス操作や文字入力の基本から、家計簿・課題学習への活用術まで実習してもらいました。最初は「パソコンを触るのが少し怖い」と緊張されていた方も、実習が進むにつれて「こんなに簡単なのだ」と楽しみながらキーボードを叩く姿が印象的でした。

参加者同士で教え合ったり、操作がうまくいった際に拍手が起こったりと、単なる学習の場にとどまらない「レイ大コミュニティ」としての温かい交流が生まれたことが何よりの成果です。受講生からは「チラシや案内状を作りたい」、「次のステップも学びたい」といった前向きな声をいただき、部会一同、大変励みになりました。また次回の教室でお会いできることを楽しみにしています。

自主講座部会 部会長 藤井 正彦



発行:滋賀県レイカディア大学 草津キャンパス サポートの会

編集:草津キャンパス サポートの会 広報情報部会

〒525-0072 滋賀県草津市笠山 7丁目 8-138

県立長寿社会福祉センター内

TEL : 077-567-3901 FAX : 077-567-3906

<https://lacakusatsu.com/1-supportai/index.html>



編集後記:

三日月知事をお招きしての合同講座、レイカディアの日、レイ大事務局の人事異動、学科・クラブ紹介など、61号も盛りだくさんの内容となりました。取材及び寄稿にご協力いただきました皆さん、当号編集に携われた皆さんに感謝申し上げます。(K.U.)